

新年度のご挨拶

目黒ユネスコ協会 会長 爲季 繁



青木英二目黒区長、新3役で表敬訪問

みなさん、こんにちは。うっとりしい梅雨空に、ときおり夏の厳しい暑さを感じる今日この頃ですがお変わりなくご活躍のことと拝察申し上げます。

去る5月の通常総会で引き続き会長を拝命致しました。皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

すでに令和5年度が始まっており、日本語教室や語学講座では春期コースが終盤を迎える時期になっております。これまでのところ、コロナ対策を講じての対面活動で特別の問題もなく経過しており、担当会員の皆様に厚く御礼申し上げます。

国の扱いはインフルエンザ並みの5類に緩和されたとはいえ、コロナがなくなったわけではありません。新規感染者数は、最近、緩やかな増加傾向にあるとされております。必要な対策を取りながら、できるだけ対面での活動を増やして、本年度計画されている事業を楽しく実施していければと期待しております。会員皆様のお力をお貸し頂きますようお願い申し上げます。

他方、コロナの影響や高齢化などもあり、当協会の活動を支えて頂いている会員数が減少傾向にあります。また、青年会員は学校の卒業などによる自然減もあります。これは構造的な問題であり、長期的・日常的な対策が必要であります。いうまでもなく、あらゆる機会を通じて新規会員を獲得することが重要ですが、特別の妙案はなく、結局、私たちが、日々楽しく活動することと、それを友人、知人はじめ、イベント参加者など多くの人々に発信して行くことではないでしょうか。

最後になりましたが、5月末で締め切ったトルコ・シリア大地震への緊急募金は、日本語教室の学習者はじめ多くの会員の方々から多額のご寄付を頂きました。この浄財は、被災者救援に役立てるため、先日、日本ユネスコ協会連盟に寄付致しました（下記ご参照）。ご協力頂きました皆様に、心より厚く御礼申し上げます。誠に有難うございました。

支援通信 トルコ・シリア大地震への緊急募金ご報告とお礼



2023年2月6日にトルコ・シリアにおいて、マグニチュード7を超える大地震が発生しました。

被災者数は約2600万人ともいわれ、2月末現在、亡くなられた方々や行方不明者は両国合わせ5万人を超えており、被災者数は今後も拡大するとみられます。心からの哀悼の意を表します。

当協会も日本語教室の学習者はじめ、大勢の会員の皆様から、温かいお気持ちのこもった、ご寄付をいただきました。募金額は、120,800円になりました。目黒ユ協から30,000円を加えて、計150,800円を、日本ユネスコ協会連盟を通して、大地震の被災者救援にあてるため、6月20日に同連盟へ寄付しました。

ご協力誠に有難うございました。

支援委員会

目黒ユネスコ日本語教室

目黒ユネスコ日本語教室は、目黒区教育委員会に共催を頂き地域に住む外国人の為の教室として目黒の地で活動を続けています。

基本方針としては、テキストを使って文法項目の学習も大切にしながら、日常に必要な会話が理解できるようになる事を目指して、クラス形式で学習をしています。とはいえ、学習者には大学入試や仕事のために高度な日本語能力習得を求める人は少なく、愉しく和やかに交流し、お互いを理解することも一つの目標或いは楽しみとして参加しています。

コロナ禍で on-line レッスンが続いていましたが、昨年9月からは、めぐろ学校サポートセンターで対面教室として再開しました。2023年4月から始まった春期教室には、全13クラスに延91名のフレンドシップメンバー(FM)が参加し、大きなトラブルもなく7月8日無事に終了することができました。対面教室では学習者もボランティアスタ



ッフも、クラスメイトと会って一緒に勉強できる楽しさを改めて感じています。コロナ禍以降活用してきた on-line レッスンも一部のクラスで継続して実施しており、on-line の良さも同時に活用しています。

まだまだコロナ感染症の心配が消えない中、学習者とボランティアスタッフの皆様が感染予防対策に心を配り協力をして頂き、お陰様でこれまで大きな問題もなく教室を運営できていることに感謝いたしております。これからも、楽しく学べる日本語教室としてスタッフ一同協力して運営していきたいと思っております。

日本語教育事業担当 加藤 光子

付記：2023年春期参加 FM 出身地域；アジア 60名、アフリカ 1名、ヨーロッパ 19名、南北アメリカ 8名、オセアニア 3名 延 91名（内4名は2クラス受講） ボランティア数；36名

「TEA TIME」 在日エジプト大使館 文化・教育・科学局 区内大使館訪問 広報委員会報告

講師：文化アタッシェ：Prof.Dr.シャヒンダ エザット氏、秘書官：水島布美子氏 2023年6月26日 12:00～13:00



目黒区内の大使館訪問を広報委員会で企画、第1回目はエジプト大使館にお願いし、快諾いただきました。質問は①女性の活躍につ

いて、②世界遺産について、③日本との交流についてです。笑顔が素敵でとても友好的な文化アタッシェの Prof. Dr.シャヒンダ氏(写真右)から伺い、秘書官の水島氏が日本語にしてくださいました。

現在、教育はエジプト人女性に大変開かれており、上の役職である5人の女性大臣が活躍しているそうです。過去を振り返っても古代エジプトでは、女王のネフェルティティやクレオパトラがとても有名なのは周知の事実です。また1920年代にファティマ・イスマイル王女は、エジプトに独立した高等教育機関設立のため、自分の宝石を寄付することでカイロ大学の建設に貢献したそうです。

アスワン・ハイ・ダム建設が始まり、アブシンベル神殿をはじめとするヌビア遺跡群は水没の危機に直面しました。すると世界中の人々が価値ある遺跡などの保存を願い、これにユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が立ち上がり、遺跡の救済を各国に呼びかけ、世界60か国の援助を得てヌビア遺跡群を安全な場所に移築する計画が始動しました。これがきっかけとなり、世界の遺跡や自然を守る「世界遺産」という制度ができたそうです。

その他今日では、「エジプトー日本教育パートナーシップ」の下、教育・保健分野を中心にエジプト人の留学生を受け入れ、反対にアレキサンドリアにあるエジプト科学技術大学で、日本人大学生のサマープログラムを受け入れているそうです。また、エジプト大使館の方々が、目黒ユ協の日本語教室で学ばれていたこともあるそうで、既に交流があったことでもとても身近に感じることができました。

最後に、日本とエジプトとの友好の深い絆を再確認できた貴重なお話を伺えたことに心より感謝申し上げます。

広報委員会 山田 香代

★会員紹介★

事務局長 久富美智子



左から/原田様・本人・黒谷様・田島先生

私が目黒ユネスコ協会に入会したのは、平成 17 年の夏でした。定年退職後は、週 4 日の勤務で、時間を持て余していた折、本協会に誘ってくださった会員の方がいました。スペインに憧れ、スペイン語の習得に熱心な理事の方でした。

当時、「ユニセフ」は、募金活動が盛んで、世間によく知られていましたが、「ユネスコ」は、“戦後の国際関係の調整や平和維持・確立のために設立された国際連合の一団体”という程度の認識で、“民間ユネスコ活動って何をやるの？”と思いつつ、入会しました。

その後、私の認識が変わった切っ掛けの一つは、あの分厚い「目黒ユネスコ協会 50 年の記録」に目を通してからのことです。本会の事業の内容が「平和への願い」に溢れた紙面であったことでした。種々の活動も現在に至るまで継続されています。設立時にしっかりと考察し、行動されてきたからだと感じています。

更に私が学んだことは、平成 18 年 2 月、顧問の田島重雄先生が計画された 10 日間の「ミャンマーの視察旅行」に同行させて頂いたことです。目黒ユ協の青年部で活躍したというミャンマー出身の留学生ヌットさんが、本国に帰って支援している「チョッコン小・中学校」を視察したことです。「教育」についてのユネ



折り紙の指導：本人・ヌットさん

スコの関わり方の一端を学ぶことができました。農村地帯の真ん中にあり、当時は、電気も通っていない地域でした。けれど、人々の心は、穏やかで、学校長をはじめ、先生方、保護者の方々との語らいも、ヌットさんの通訳で和やかで、有意義な時を過ごしました。その後、私たちは、小学校の教室に行き、日本から持参した折り紙を配り、鶴の折り方を教えました。途中で、手が止まった子も友達同士で声を掛け合い、全員が作りあげました。校庭に並んだ子どもたちの笑顔に見送られて学校を後に致しました。

田島先生は、青年たちの育成にも熱心で、毎年、計画されていた二泊三日の「夏の集い」にも参加していました。夜のキャンプファイヤーにも加わって、留学生との会話も楽しんでいました。お世話係のつもりで参加した私にとりましても、意義のある 3 日間でした。

あれからたくさん月日がたちました。広報委員会、交流委員会、青少年委員会をはじめ声がかかると各委員会に馳せ参じてきました。また会計を 8 年間。現在は、事務局長を仰せ付かって 3 年目を迎えております。



2023 年～2024 年活動計画と各委員長一覧



皆様今年もご一緒によろしくお祈りします。

各事業委員会	令和 5 年度 事業内容	委員長
研修委員会	文化講座 3・受託語学教室 2・自主語学教室 6	山田 香代 (新)
交流委員会	国際交流ひろば・バスツアー・日本文化紹介	濱岡 位久子
青少年委員会	青少年フエスタ・サイエンス教室・支援活動・他	神戸 陸太郎 (新)
日本語教育委員会	目黒ユネスコ日本語教室・交流サロン	加藤 光子
支援委員会	識字支援・国内外災害支援・教育支援	岩佐 富雄 (新)
芸術・文化委員会	美術展・美術教室・コンサート	鈴木 純夫
広報委員会	会報発行・協会案内発行・ホームページ運営	齊藤 眞澄
事務局/協会運営	理事会・総会・会計(谷澤)・名簿(梶谷) 他団体との協力・他	久富 美智子

■千羽鶴の募集

当協会では例年通り千羽鶴を集め、広島市(原爆の子像)に届ける活動を実施します。千羽鶴作りにご協力を。サイズは7.5×7.5の紙で鶴を折り、事務局までお送りください。締め切りは7月25日。(担当:望月)

▲目黒ユネスコ日本語教室 2023 秋期教室

★受託日本語教室「初めて習う日本語」

日時:9月5日(火)~12月5日(火)全26回 10~12時
会場:中央町社会教育館(さくらプラザ地下1階)
人数:10名 対象:16歳以上の初めて日本語を習う人
費用:3300円(テキスト代として)
保育:あり(2歳以上、小学校入学前まで)
申し込み:協会HPに掲載の申込フォームで、
8月2日~8月20日までに申込
(主催:目黒区教育委員会 主管:目黒ユネスコ協会)

▲「目黒ユネスコ日本語教室 2023 秋期」

日時:①朝コース 9月5日(火)~12月7日(木)

毎週火・木曜日 全27回

②土曜コース 9月9日(土)~12月9日(土)

毎週土曜日 全13回

両コースとも10時~11時45分

会場:めぐろ学校サポートセンターほか

募集人数:初級~中級 1クラス8名(先着順)

費用:①8,100円 ②3,900円 テキスト代は別途

申し込み:協会HP掲載の申込フォームを使い

8月2日以降に申し込み

(主催:目黒ユネスコ協会 共催:目黒区教育委員会)

■「目黒ユネスコ日本語教室 2023 秋期 on-line レッスン」

日時:9月5日(火)~12月5日(火) 毎週火曜日

全14回 18時半~20時

会場:ZOOMを使用してのon-line レッスン

募集人数:初級・中級 1クラス8名(先着順)を予定

費用:4,200円 参加費のみ

申し込み:協会HP掲載の申込フォームを使い

8月2日以降に申込。(主催:目黒ユネスコ協会)

●関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京

日時:2023年9月3日(日) 13:00~

会場:青山学院大学(17号館・本多記念国際会議場)

特別講演:「過去・現在・未来のファッションと平和」

講師:コシノ ジュンコ氏

参加費:会員:4,000円、青年34歳以下:2,000円、

学生・生徒・一般:無料 締切:7月末

交流会:会員:6,000円、青年:3,000円

申込方法:各団体(協会・クラブ)からの申込。

※参加希望者は事務局(久富)までご連絡ください。

■新型コロナウイルス感染防止のため、活動が中止、

または延期になる場合があります。ご了承ください。

★ユネスコ国際文化交流講座

★A) ユネスコ文化講座①

「タイ国の工業とSDGsに関して」 仮題

講師:駐日タイ王国大使館公使参事官

日時:10月21日(土) 14:00~参加:70名(先着)

会場:緑ヶ丘文化会館 区報10月1日号



★B) インドネシア語初級講座 区報9月1日号

講師:クスワン先生・10月4日(水) 9:30~11:30

全15回・中央町社会教育館(さくらプラザ) 定員25名

★C) フランス語初級講座 区報10月1日号

講師:伊藤クロード先生・11月2日(木) 10:00~12:00

全15回・中目黒住区センター第1会議室 定員25名

※★A~Cの各申込は、めぐろ区報をご参照ください。

問合せ:目黒ユネスコ協会 研修(齊藤)まで。

新入会員~ようこそ!~(敬称略)

下河恵子・浜 陽子・大友康子・武田敏子

津田 映・丸山起人・戸塚京子・伊藤恭子

活動日誌6月~7月

■6/11(日) 第3回理事会

■7/19(水) 発送連絡会

■7/24(月)~8月25日(金) 事務局夏休み



8月以降の予定

★8/6(日) サイエンス教室「数学を楽しもう」

●9/3(日) 関東ブロック・ユネスコ活動研究会 in 東京

▲9/5(火) ユネスコ日本語教室

●9/9(土) 第79回日本ユ運動全国大会 in 富士吉田

★10/4(水) インドネシア語初級講座

★10/21(土) ユネスコ文化講座①

★11/2(木) フランス語初級講座

■自主語学教室6講座(仏1・英2・独1・伊1・中1)

■目黒ユネスコ協会主催

●目黒ユ協会の関連機関・団体との協力事業

▲目黒ユ協会の関連機関・団体との共催事業

★目黒教育委員会からの受託事業



最新情報はHPから

【編集後記】

5年ぶりに協会案内を刷新した。写真の入れ替え、中止になった活動や名称の変更など、大勢の会員の意見&協力のもと、完成しうれしい。半面、コロナ禍、ウクライナ紛争、自然災害、事件事故等々の報道を目にして、心を痛める日々が続く。私たちは特に暴力に対してあまりに非力だ。破壊された民家や、涙にくれる母子の悲劇にストップをかけたい。平和を標榜するユネスコ活動の将来を信じ、一日も早い和解の時を待ち望む。齊藤眞澄